

平成30年5月16日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL、2018年第1四半期業績についての解説

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、同社がSETに開示した2018年第1四半期の財務諸表につきまして業績の解説プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

2018年5月15日

Group Lease Public Company Limited (以下、GL)は、2018年第1四半期の連結財務諸表および個別財務諸表に関する業績について、以下のとおりご説明させていただきます。

連結財務諸表

GLが発表した2018年第1四半期業績において、当期連結純利益は106.53百万タイバーツとなり、前年同期に比べ220.84百万タイバーツ減、67.46%減となりました。純利益減少の主な要因はローン貸付利息の減少です。

1. 割賦及びリース販売利息収入は、前年同期比6.60百万タイバーツ増、1.30%増の513.48百万タイバーツを計上しました。GL及びタイの子会社Thanaban Company Limited(以下、TNB)において新商品及び新戦略に沿って割賦及びリース販売利息収入が増加(GLで27.69百万タイバーツ増、TNBで16.24百万タイバーツ増)したことが主な要因です。更にラオスの子会社GL Leasing(Lao) Ltd.(以下、GLL)においては貸付額の増加に伴い、割賦及びリース販売利息収入が3.68百万タイバーツ増加いたしました。一方、カンボジアの子会社GL Finance Plc.(以下、GLF)における割賦及びリース販売利息収入は40.95百万タイバーツ減少いたしました。
2. 資産担保金融利息収入は、前年同期比5.60百万タイバーツ増、15.49%増の41.73百万タイバーツを計上しました。この増加のうち、4.07百万タイバーツはTNBによるものであり、同社の事業拡大の達成を表しております。残りの1.53百万タイバーツは、2017年第2四半期に新商材として開始したGLFによるものです。

3. マイクロファイナンス利息収入は、前年同期比 32.33 百万タイバーツ増の 36.60 百万タイバーツとなり、大幅な顧客増を反映した結果です。2018 年第 1 四半期において、ミャンマーの子会社 BGMM が 25.29 百万タイバーツ、インドネシアの子会社 GLF Indonesia が 11.31 百万タイバーツをそれぞれ計上いたしました。
4. ジョイントベンチャーによるコンシューマーファイナンス利息収入は、前年同期比 11.80 百万タイバーツ増、167.65%増の 18.85 百万タイバーツでした。このコンシューマーファイナンス事業は、インドネシアにおいて農機具購入者向けにローンを提供するジョイントファイナンスという新しい形の商品です。
5. ローン貸付利息は、前年同期比 142.56 百万タイバーツ減、99.68%減の 0.46 百万タイバーツでした。大幅な減少の主な理由は、会社が保守的な見解により、法人（サプライヤ）へのローン貸付利息を収益として計上しないことを方針として決定したことです。
6. 売上収入は、1.15 百万タイバーツと増加しました。これは 2017 年第 4 四半期に TNB が開始した新事業です。
7. その他収入は、前年同期比 0.11 百万タイバーツ増、0.13%増の 90.88 百万タイバーツを計上しました。その主な内訳は、その他利息収入 11.84 百万タイバーツ、割賦及びリース販売関連その他収入 72.00 百万タイバーツ、マイクロファイナンス関連その他収入 2.28 百万タイバーツ、その他収入 4.76 百万タイバーツです。
8. サービス費及び管理費合計は、前年同期比 81.97 百万タイバーツ増、31.90%増の 338.99 百万タイバーツを計上しました。この主な要因は、ミャンマーとインドネシアの事業運営における管理費用の増加と訴訟対応に伴うリーガル費用の急激な増加です。
9. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期に比べて 16.57 百万タイバーツ増、21.52%増となりました。この主な要因は、減損及び担保権行使基準の変更です。
10. 売上原価は、0.94 百万タイバーツでした。これは、上記 No. 6 で言及しております 2017 年第 4 四半期に TNB が開始した新事業の売上原価です。
11. 担保権行使資産処分による損失は、前年同期比 12.65 百万タイバーツ増、21.57%増の 71.30 百万タイバーツでした。タイの割賦及びリース販売の貸付ポートフォリオにおいてオートバイ一台あたりの販売価格が増加したこと及び GLF において担保権行使率が増加したことが主な要因です。
12. 2016 年 10 月に株式の 29.99%を取得したスリランカの持分法適用会社 Commercial Credit and Finance PLC（以下、CCF）からの持分法による投資利益は、前年同期比 15.42 百万タイバーツ減、27.78%減の 40.07 百万タイバーツでした。主な要因は、CCF における貸倒引当金の増加及びタイバーツの高騰です。

13. ファイナンス費用は、前年同期比 5.83 百万タイバーツ減、5.65%減の 97.30 百万タイバーツでした。主な要因は、カンボジアの GLF における銀行借入の減少です。

個別財務諸表

2017 年度の当期純利益は、前年同期比 89.01 百万タイバーツ増、194.33%増の 134.82 百万タイバーツでした。以下は、その主な要因です。

1. 割賦及びリース販売利息収入は、前年同期比 27.69 百万タイバーツ増、9.34%増の 324.24 百万タイバーツでした。2018 年第 1 四半期末の割賦及びリース販売貸付金残高は、前年同期に比べて 447.87 百万タイバーツ、11.28%増加しました。これは、会社の戦略としてタイにおけるポートフォリオ拡大を重視した結果です。
2. その他収入は、前年同期の 149.11 百万タイバーツから 200.45 百万タイバーツ (51.34 百万タイバーツ増、34.43%増) に増加しました。その他収入の主な内訳は、海外子会社への貸付利息収入計 88.89 百万タイバーツ、為替差益 55.42 百万タイバーツ、経営サービス収入 21.00 百万タイバーツ、割賦及びリース販売関連収入計 32.10 百万タイバーツ、その他 3.04 百万タイバーツです。
3. サービス費及び管理費合計は、前年同期 204.04 百万タイバーツから 162.31 百万タイバーツ (41.73 百万タイバーツ減、20.45%減) に減少しました。訴訟対応によるリーガル費用の急激な増加があったにもかかわらず減少となり、費用効率の高い経営を表しております。
4. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比 16.18 百万タイバーツ増、39.75%増の 56.87 百万タイバーツでした。この主な要因は、減損及び担保権行使基準の変更です。
5. 資産処分による損失は、前年同期比 6.68 百万タイバーツ増、12.87%増の 58.60 百万タイバーツでした。タイの割賦及びリース販売の貸付ポートフォリオにおいてオートバイ一台あたりの販売価格が増加したことが主な要因です。
6. ファイナンス費用は、前年同期比 3.03 百万タイバーツ減、3.09%減の 94.89 百万タイバーツでした。主な要因は、第三者への負債減少です。

以 上